

# CASBEE® 名古屋

# 評価結果

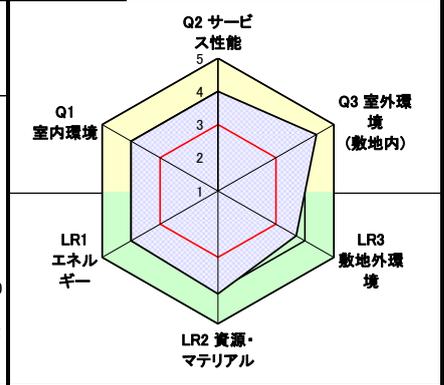
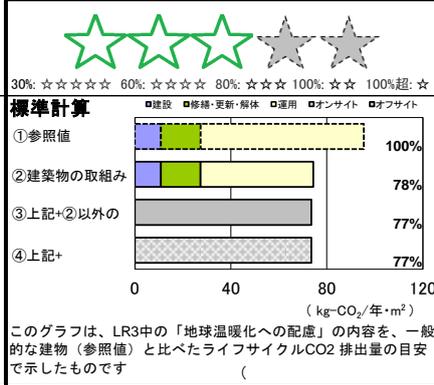
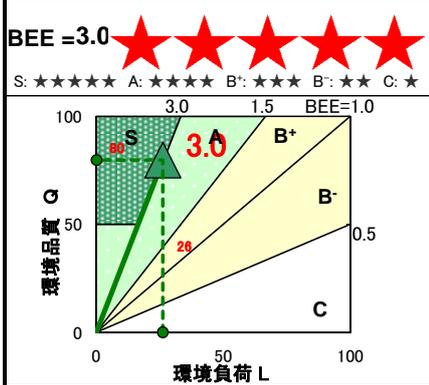
■使用評価マニュアル: CASBEE\_名古屋2010年版

■使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya2010\_V1.0

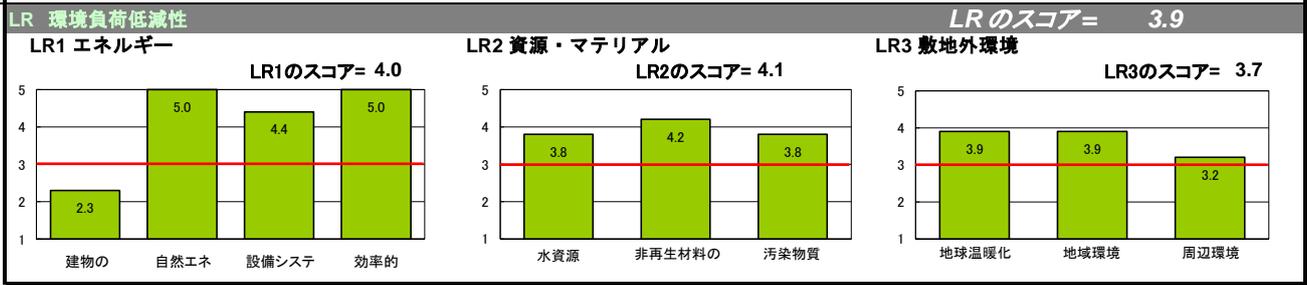
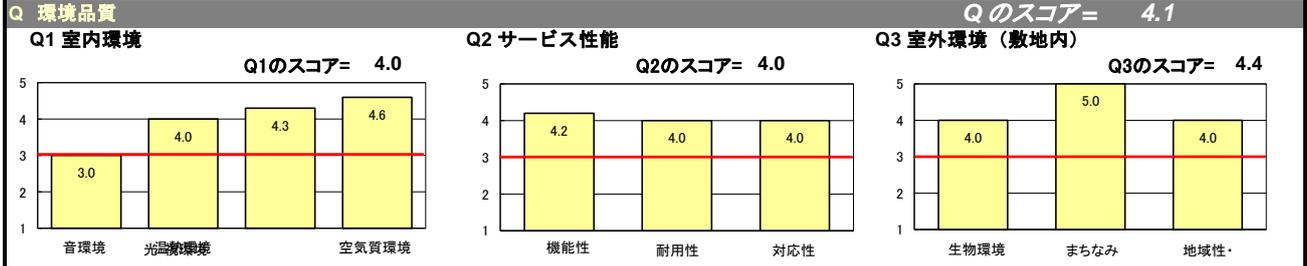
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	愛知学院大学名城公園キャンパス	階数	地上10F、地下1F
建設地	愛知県名古屋市	構造	S造
用途地域	第一種、第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	5人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所、学校、飲食店	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2012年3月30日
敷地面積	23,000㎡	作成者	
建築面積	8,916㎡	確認日	2012年4月30日
延床面積	32,822㎡	確認者	



## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

総合	その他
大学施設における低炭素モデルキャンパスを目指し、環境配慮型建築と自然・未利用エネルギーを積極的に利用。さらに災害緊急避難所設置に伴い防災性と省CO <sub>2</sub> の両立、学生教職員、地域住民に対するこれらのメッセージ発信、学識者、設計者、施工者、エネルギー事業者など関係者一体となった計画・検証・技術の展開	なし
<b>Q1 室内環境</b> Low-eガラス、誘引放射空調、自動調光外付けブラインドによる名城公園の視界	<b>Q2 サービス性能</b> OAフロアH=100mm、階高4.1m、高層棟のエスカレーターの設置、係数1.25の耐震性能、高層棟無柱空間によるフレキシビリティの向上、マイクロージェネレーションの採用、熱源の多重化(電気・ガス)
<b>LR1 エネルギー</b> エネルギー監視システムの積極的利用、屋光利用による照明自動調光制御、共用部での人感センサー点滅制御、空調の共用部排気によるエネルギーのカスケード利用、水平庇による日射制御、外付けブラインドによる自動調光、高効率機器、高効率照明の採用、太陽光発電	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 雨水利用と節水器具採用、井水利用
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> オープンスペースの確保、緑視量の確保、名城公園からの涼風を活用する建物配置、敷地緑化と公開空地の整備、透水性平板
	<b>LR3 敷地外環境</b> 主要機器を低騒音型として計画し、防音壁を設置、屋上緑化、駐車・駐輪スペースの確保、近隣への涼風ルートを確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される